

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	長期の入所による家族の高齢化も考えられるが、家族の面会頻度に個人差があり、施設に預けたままで関わりを持っていない家族も見られる。	施設としては家族にも心身の負担の無い程度に面会や利用者との外出の機会を設けて頂き出来る限り家族としての関わりを持ってもらう	名目としては家族会の立ち上げを行う。家族側の負担軽減のために、職員中心に進行していく。 年数回のまとまった集まりの場を設けて、利用者さんと家族、家族同士の関わりを設定して情報交換や、情報共有の場にしていく。	6ヶ月
2	4	画一的メンバーの参加のみとなっており、新しい事例への意見は頂けているが、決まった方の考え方で意見に偏りがみられる事もある。	新たに参加して頂けるメンバーの選定を行い、より密な会議の内容にしていく。	近隣の店舗や施設の方々の参加を促し、今まで以上に様々な意見や、地域から見る施設に対する思いや、認知症への理解を深めて行ける会議にしていく。そこから地域との連携を取れるようなシステムを構築していく。	3ヶ月
3	2	行事の時やサマーチャレンジボランティア以外の単発的、または継続的なボランティアの受け入れ態勢が構築できていない。	利用者と地域、施設と地域を結ぶため近隣の中学校、高等学校や地域のサークルや個人の方を対象とした、ボランティアの活用をしていく。	本部と相談してボランティアの取り決め等を明確にしてボランティア担当者を配置し、担当職員を中心に各団体へ電話、または訪問してボランティアの内容説明を行い活動者の確保をしていく。	4ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。